

平成31年4月23日
宗教法人 阿蘇神社

(お知らせ)

「長目塚古墳出土品」が熊本県重要文化財に指定されました

平素より当神社にご理解ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、飛地境内（社有地）の長目塚古墳（5世紀前半と推定）は、県内最大級の前方後円墳で、昭和24年（1949）に発掘調査が行われ、その出土品は長く宝物として阿蘇神社に伝えられてきました。このたび文化財としての価値が評価され、下記のとおり熊本県重要文化財の指定を受けました。4月22日に指定書の伝達式が行われましたのでお知らせします。

記

- 1, 種 別 熊本県指定重要文化財（考古資料）
- 2, 名 称 長目塚古墳出土品
- 3, 員 数 9種451点（附 残欠一括）
- 4, 所 在 阿蘇市一の宮町宮地3083-1 阿蘇神社内
- 5, 所有者 宗教法人 阿蘇神社
- 6, 指定日 平成31年3月26日

以上



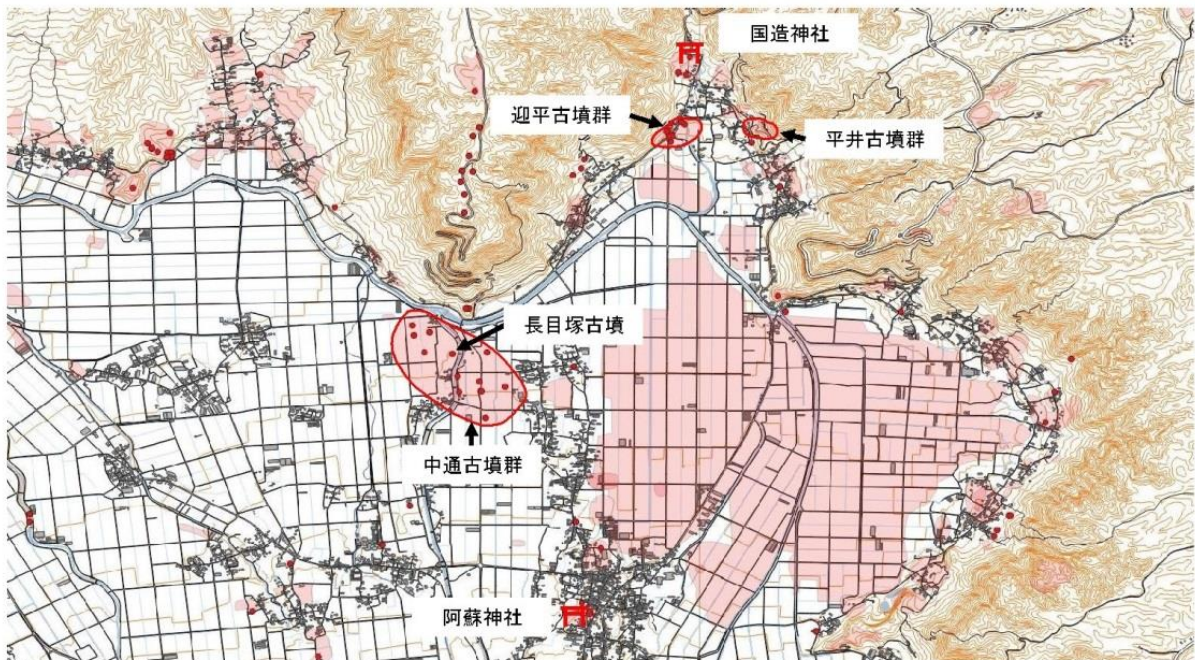
伝達式（平成31年4月22日）
阿蘇市阿南教育長より阿蘇宮司へ



長目塚古墳出土品（部分）

なかどおりこふんぐん
中通古墳群について（阿蘇市一の宮町中通）

阿蘇神社の北3kmに位置する中通古墳群は、2基の前方後円墳（長目塚(ながめづか)古墳、上鞍掛塚(かみくらかけづか)A古墳）を中心に、ほか円墳8基からなる阿蘇最大の古墳群です。現在、古墳としてはっきり形をとどめているものは10基ですが、明治期の調査によれば14基以上あったとされています。昭和34年（1959）に熊本県史跡に指定され、その多くは阿蘇神社の飛地境内（社有地）になっています。



※この図は、国土地理院基盤地図情報を背景地図として使用し、熊本県遺跡地図を合成して作成した。

作成 阿蘇市教育委員会 学芸員 宮本利邦氏